

ときめき 鹿島

Beating Kashima

2014.1
新春
46号

ポラリス

★ポラリス(北極星)を目指すには北極星を見分けること。目指すところ(方向)は一筋でもやり方はそれぞれ多種多様。一人一人の思いをエッセイの形で伝えたい。

小鯖理事長のポラリス

理事長 小 鯖 覚

新年明けましておめでとうございます。わたくし事ではありますが平成19年に発病したとき、平成26年など迎えることができるなど夢にも思っていませんでした。鹿島病院の皆様の励まし、サポートによって地に這いつくばりながらでもやってこれたこと感謝の極みです。病院はいつも前進し続けなければいけません。みんなが一つの目標(ポラリス)に向かって宇宙船「鹿島丸」に乗りこんで漕ぎ出そうではありませんか。

夢

悲しみにくれ 心がすさむ時 人はいつも夢を見る
心こめて一途に夢を持ち続けると
夢は希望に変わり いつの日か現実となる
夢に届いたとき また新たな夢が生まれる
夢を追いかけることは 生きること
どんなささいな夢でもいいから
夢を持ち続けていたい

人とうまく話せない 人の心がわからない
部屋の片隅にふさぎ込んで
時が通り過ぎるのをただ待っている
人にはきらびやかに映る花たちも
自分には白黒(mono tone)の世界
迫りくる不安と恐怖に 怯えながらも
しがみついている
夢をください! 私を救う素晴らしい夢

待っていても夢は近づいてはくれない
夢はあなたが掴むもの
自分が追いかけていけば 夢は逃げていく
夢に届いたとき また新たな夢が生まれる
夢を追いかけることは 生きること
そして辛さや悲しみは過去のものとなる

一人の夢が 二人の夢になり
4人 8人 16人と広がってゆき
最後に職員みんなの夢になる
揺るぎなく、くじけることなく
共通の夢を叶えていこう。
夢を追いかけることは生きること
生きるとは夢を追いかけ続けること



基本理念

私たちは、仁愛の心をもって「医療と介護サービス」を提供し、地域に貢献します。

基本方針

1. 鹿島病院を中心に地域と連携して、良質な慢性期医療を確立します。
2. 患者様・利用者様の人権を尊重し、思いやりとつくしみの心で接します。
3. 技術や知識向上のため、たゆまぬ努力を行ないます。

行動指針

1. Safety …安全を最優先します。
2. Speedy …変化に能動的に挑戦します。
3. Service …おもてなしの精神で接します。

医療法人財団公に会中期ビジョン2013

中期ビジョン2013

慢性期医療の確立

1. 病院機能

- (1)慢性期医療の推進
- (2)回復期リハビリテーションの推進と積極的拡充
- (3)特殊疾患、回復期、療養病棟の再編成の検討
- (4)医療療養病床平均在院日数135日を目指す
- (5)後発医薬品の使用促進

2. 在宅サービス機能

- (1)在宅サービスの質の向上
- (2)医療、介護関係機関との連携強化
- (3)在宅サービスの評価・検討・組織力強化

3. 医療安全対策の推進

- (1)感染防止対策の活性化
・専門的知識のレベルアップ
- (2)医療安全対策の活性化(医療安全、医薬品、医療機器)
・専門的知識のレベルアップ

4. 地域連携 及び 地域貢献

- (1)急性期及び介護保険施設の支援病院としての機能強化
- (2)地域の診療所との連携
- (3)患者退院後の地域連携の確立
- (4)予防医療や介護技術を地域へ普及

5. 高齢者や障害者を意識した施設・設備・環境の整備

6. 継続的な医療サービスの質の改善への取組み

- (1)機能評価の評価に基づく継続的改善活動
- (2)臨床指標 (Clinical Indicator)の検討・活用
- (3)患者満足度向上の組織的取組み
- (4)診療録・看護記録等の質の向上

7. エコロジーへの取組み

8. 人材の育成

- (1)職員教育体系の構築
- (2)専門的知識を有するスタッフの育成
- (3)人事評価体系の構築

9. 電子カルテシステムの評価、改善

10. リスクの軽減とリスクへの備え

- (1)組織的にリスクの再評価、再検討
- (2)新型インフルエンザ対策
- (3)原子力災害への対応

患者様・利用者様の権利宣言

平成21年10月1日改正

1. 個人の尊厳

患者様・利用者様は、ひとりの人間として、その人格・価値観などを尊重されます。患者様・利用者様ご自身が意思表示や意思決定できない場合は、ご本人の尊厳を前提としてご家族と当財団のスタッフでよく話し合い決定していきます。

2. 平等で最善の医療と介護サービスを受ける権利

患者様・利用者様は、平等で安全に配慮された最善の医療・介護サービスを受ける権利があります。

3. インフォームド・コンセントと自己決定権

患者様・利用者様は、医療と介護サービスに関することについて、わかりやすい言葉や方法で説明を受け、その内容を十分に理解した上で選択・同意し、適切な医療・介護サービスを受ける権利があります。

また医師から提案された医療・介護サービスに同意できない場合は、拒否することもできます。拒否することで不利益をこうむることはありません。

その選択にあたっては、他の医療・介護サービス機関の意見を聴く(セカンドオピニオン)ことができます。

4. 情報に関する権利

患者様・利用者様は、当財団で行われたご自身の医療・介護サービスに関する情報の提供を受ける権利があります。

5. プライバシー及び個人情報の保護

患者様・利用者様は、私的な生活を可能な限り他人に侵されない権利があります。医療・介護サービスの過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳守され、患者様・利用者様の承諾なしには開示されません。

鹿島病院臨床倫理の方針

平成22年1月1日制定
(平成22年1月6日 理事長承認)

1. 患者様の人権を尊重するとともに、患者様と医療従事者が協力して公正かつ公平な医療を提供します。
2. 患者様ご自身が意思決定できない場合は、ご家族と十分に話し合い治療方針等を決定します。

3. 終末期治療方針は、医学的に妥当で適切な医療を患者様・ご家族の同意の上、多職種よりなるケアチームで決定します。
4. 患者様の苦痛や価値観を尊重した医療を提供します。
5. 臨床研究は、倫理的審査を行った上で患者様・ご家族の同意に基づき実施します。

2014 年々の職員に今年の抱負を聞きました!



看護部 原田 絵里

ここ数年低くただしく過ごすことが多く、毎年12月には「一年が早かった」という感想しかありません。お正月には初詣に行き、「健康に過ごせますように」という願いがほとんどです。そんな私も数年前からフィットネスクラブで部トレをするようになり、それなりに運動はしてきたつもりですが、なんの変化も感じずにいました。しかし確実に風邪をひかなくなり冷え症が改善されつつあります。すると次第に数字が気になるようになってきました。今年は体脂肪率23%維持、骨格筋率30%以上を目指し、さらに身体を鍛えて健康管理に努めたいと思います。



リハビリテーション部 山本 柊太

今年は午年という事でよく馬に似ていると言われる僕としては複雑な1年となりそうです。今年で入職から2年目となりました。この1年を振り返るととても早く過ぎていったように感じます。ただ、仕事と私生活は共に充実し松江での生活にも慣れてきました。一人暮らし1年目はよく職場ではご飯食べてる?と聞かれましたが、今は見ての通り健康です。来年は3年目となり、いよいよ後輩が就職してくるとの事なので、負けないように頑張ります。



医療相談部 金田 直樹

新年明けましておめでとうございます。昨年は医療相談部に新たな職員が加わりスタートしたこと、人生で初めてインフルエンザにかかったこと、レガッタで優勝したことなど多々ありました。みなさんのおかげで、なんと1年を乗り越えることができ感謝しています。前回の午年を振り返ると大学を卒業して少し遅ったところであり、何も考えず気楽に過ごしていたことが無い浮かべられます。現在在鹿島病院に入職して11年経ち、多少なりとも力をつけたと思いますが、失敗することも多く反省する毎日です。12年後に振り返った時に良い年を送れるように、現状に満足せず、自己研鑽に努めたいと考えております。



看護部 川上 愛

あけましておめでとうございます。馬の川上です。鞭を受けないと動けません。優しく手綱を引いてくれないと暴れます。それはさておき...介護福祉士として働き、今年で16年目を迎えます。「いつも明るく、笑顔絶やさず。」が介護福祉士になりたての目標でした。考えると、眉間に皺を寄せていることも多々あり...今年は節目として初心に戻る!プラスαに余裕をもって過ごす!今年もどうぞよろしくお願い致します。



看護部 桑谷 晶子

鹿島病院に勤務させていただき、早いものでもうすぐ2年が経とうとしています。1年目は初めての2交代勤務を経験し、長時間の夜勤と責任の重さに押しつぶされそうになり体調を崩すことが多かったですが、2年目は気持ちに少しゆとりができ、リフレッシュしながら日々仕事に励んでいます。職場の皆様のお支えとご指導のおかげで、頑張っていると感謝しています。マンパワー不足の中、日々の業務に消され、看護師としての役割が果たしているかと感じ難さや悩みが尽きませんが、できないことばかりに目を向けるのではなく、できていることをお互いに認め合えるようにしていきたいと思っています。開業の力には「おしるこ」とありましたので、太らぬ程度に食べ、今年も頑張ります。



看護部 井上 明子

明けましておめでとうございます。今年も午年、とうとう年女を迎えました。鹿島病院に入職した当初は初々しかったものですが、いつの間にか干支が一回りするという年月が経ちました。昨年は認定看護師を取得することができ、これも鹿島病院の職員の皆様のおかげだと思います。今年も少しずつではあると思いますが、皆様のお役に立てれるよう頑張りたいと思います。



事務部 福田 摩実

今年も午年ということで、年男・年女初めの新年の抱負を書かせていただくことになりました。午年生まれは十二支の中では最も人口が少ないそうです。それは、丙午年の出生率が極端に低いからです。十二支の午は馬の火で、十干の内は陽の火です。午の年と丙の年生まれは火の如く気性が荒いと云われます。その二つが重なる60年に一度が丙午で、一般的に良くない年とされています。しかし、悪い方を置けば火の如く情熱的な干支とも云えます。また、午年の馬は「ものごとがうま」く、「幸運が駆け込んでくる」ほど、縁起の良い動物と云われています。生まれたばかりの仔馬が生後2週間ほどで立ち上がり、すぐに自在に走り回ることから「立ち上がり早い」「立身出世の象徴」とされています。そこで、この縁起の良い馬に負って、良い年になるようお願いしながら、今年一年を健康に過ごし、元氣よく駆け回り、情熱的に仕事や家事をこなしていきたいと思っております。



看護部 中澤 千波

明けましておめでとうございます。早いもので入職して10年目になりました。去年は何年かぶり学生時代の友人と集まり、その会話の中で「親が入院して」とか「自分は今、実は闘病中」という声が多く聞かれ、驚くと同時に気をつけなければという思いになりました。私は運動不足や体力低下はひしひし感じるものの、大病なく元気に過ごせているので幸いです。今年も健康を第一に考え健康管理と体力維持に努めていきたいと思っています。今年一年何事もウマくいきますように!!



事務部 今岡 祐子

新年の抱負ということで、ここ数年必ず考えることは「体と心を鍛える」ことです。文科系の部活しか体験がありませんが、ありがたいことに周りの皆さんに誘っていただきレガッタやバスケットに参加させていただいたので、今年も継続することが一つの目標です。鹿島病院に入職して8年になりますが、年を重ねても向上心を持って取り組み、いい意味での当たり年となるように、仕事を前向きにとらえて感謝の気持ちと笑顔を忘れず乗り越えていきたいと思っています!

回復期病棟活動報告

回復期病棟QOLチーム

回復期病棟QOLチームは、病棟看護職員、介護職員、セラピストで構成されています。回復期病棟入院患者様のQOL向上を目指し活動を行っています。

『QOL(quality of life)』とは、一般にひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた生活の質の事を指し、つまりある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということをも尺度としてとらえる概念です。QOLの「幸福」とは、身心の健康、良好な人間関係、やりがいのある仕事、快適な住環境、十分な教育、レクリエーション活動、レジャーなど様々な観点から計られます。

活動が開始してから2年が経とうとしていますが、これまでレクリエーションを中心とした様々な活動を行ってきました。掲載している写真はほんの一部です。レクリエーション活動等を通じ、活動中はもちろんの事、活動後の病棟の雰囲気もとても明るくなりました。また、患者様同士のコミュニケーションも盛んとなりました。以前は同じ食事テーブルに座っていても黙々と食事を摂っておられた方が多かったのですが、活動後は食事中にも患者様同士の会話が増え、食堂が賑やかになってきました。患者様同士のみで無く、職員と患者様とのコミュニケーションも自然と増えてきた様に思います。今後もレクリエーションを通じ、職員と患者様とのコミュニケーションの輪を拡げていく事が出来ればと思っています。

現在は月1~2回のレクリエーションが主な活動内容となっていますが、今後はレクリエーションのみに留まらず、患者様がより快適に過ごせる居室環境の検討や、ホールにおける患者様へのサービスの充実化など、更なる活動の幅の拡大と質の向上を目指します。



ボール釣りゲームです。景品付きだったので、釣り竿の奪い合いになりました(笑)



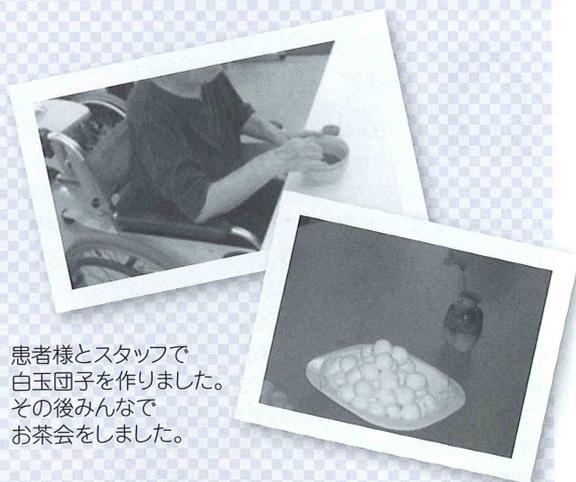
患者様が作成した張り絵です。



患者様とテレビ体操を踊っています。



的当てゲームです。
これはかなり盛り上がりました!



患者様とスタッフで白玉団子を作りました。その後みんなでお茶会をしました。



つうしょテラス



～馬がウマイ～

干支である「馬」の飾り作りの様子です。写真ではわかりにくいですが、卵の殻を張り付けて作成しています。卵の殻という、非常に気を使う材料を使用しているの、とても根気のいる作業ですが、皆様やりがいをもって真剣に取り組んでおられます。どんな仕上り具合かは、見てのお楽しみ!!!



～行事(催し物)紹介～

11/25(火) あじさいグループ 踊り披露

誕生会の日、踊りサークル「あじさいグループ」による踊りを披露いただきました。皆さんがよく知っておられる曲などで踊っていただき、皆さんその舞を楽しんでおられました。また幸町団地の方々にも声を掛け、お出掛けいただきました。



当デイサービスご利用の方が旭日小
綬章を授章されました。これまでの
数々の功績が称えられたということ
で、私たちもとても誇りに思います。
ますます元気で、ただ無理をせずに。

お正月おやつ 梅が枝餅 ～簡単レシピ～

身近な食材を使って出来る簡単なメニューを紹介しました。
絹ごし豆腐で食べやすくアレンジしています。
ぜひ、チャレンジしてみてください。



絹ごし豆腐(150g)と餅粉(100g)をボウルにいれて手で
混ぜ合わせ、よくこねます。(寫たぶくらいの硬さになるよう
にします。)



こしあん(180g)と生地を
それぞれ6等分にして
丸めます。



生地を手のひらで広げて、
こしあんを包み
平たくします。



フライパンに油をなじませ、
弱めの中火で焼き(時々ふたをする)、
両面がこんがり焼けたら出来上がりです。



健康コーナー 豆知識

お薬の話

薬剤師 武藤 貴広



みなさん何回かは薬を服用した事があるのではないのでしょうか。縄文時代に薬草を使用した形跡が発見されているそうなので、薬は1万数千年歴史があるという事になります。ですが、副作用が怖いというイメージもよく耳にします。薬の悪影響を最小限にし、効果をしっかりと出す為には、薬に必要な情報を知り、正しく付き合う事が大切です。



Q1 薬は何でのめばいいのでしょうか？

一般的に飲み薬は、コップ1杯程度の水、又はぬるま湯で飲むように作られています。熱いお湯では分解してしまう消化酵素剤、お茶で吸収が阻害される鉄剤、牛乳では効果がなくなる抗生物質、炭酸では胃が酸性に傾き吸収が悪くなってしまふ薬等があります。特に指示がなければ水で服用することを習慣にしましょう。

Q2 薬の服用する時間？

指示された服用時間は必ず守りましょう。食後・食事の後30分以内 食前・食事の前30分以内 食直前・食事の最初の一口目が薬 食間・食後2時間後(決して食事中ではありません!)もし、飲んだが飲んでないかわらなくなった場合は、服用せず次の服用からしっかり飲むようにしてください。2回分服用してしまうことを避ける必要があります。

Q3 副作用とは？

薬の本来の目的としない作用のことです。有害作用はすべての人に現れるというものではありません。同じ量のアルコールを飲んでも、すぐく酔っばらう人と全然酔わない人がいます。それと同様に、薬ひとつひとつ、人それぞれで効果の強さは違うのです。今の時点では、有害作用を完全に予測することは不可能ですので、薬を飲んでいつもと違う体の変化が現れたら、なるべく早く、医師や薬剤師に相談することが大切です。

Q4 知人の薬等の注意点

薬の効果は1つではありません。同じ薬がパーキンソン病とインフルエンザ薬をかねる場合があったり、てんかんの薬が神経痛の薬にもなります。自分が神経痛で服用している薬を、友人も服用している場面を目にして、「あら同じ神経痛なのね」と発言したことにより、友人が「私は神経痛でないのでこの薬はのまなくてもいい」と服用をやめてしまった事例もありました。同じ薬でも、違う症状に使う事があるという事は覚えておいて下さい。

自分の服用している薬について正しく理解しておくことが大切です。気になることがあれば薬剤師に遠慮なく相談してみましょう。

健康コーナー

「マザー・テレサ」

深木のり子
(群馬県利根郡みなづき町)

マザー・テレサの瞳は時に猛禽類のように鋭く怖いようだった。マザー・テレサの瞳は時にやさしさの極北をしめしてもいた。

マザー・テレサの瞳はクリスチャンでもない私のどこかに棲みついていた。じつとこちらを凝視したりまたたいたりして、中途半端なやさしさを贈ってくる。

たった二枚のサリーを洗いつつ取っかえ引っかえ顔には深い皺を刻み、背丈は縮んでしまったけれど、八十六歳の彼女はまたたく美しかった。

二十世紀の逆説を生き抜いた生涯、外科手術の必要な者に、ただ包帯を巻いて歩いただけと批判する人は知らないのだ。瀕死の病人をひたすら抱きかかると、慰める意味を、死にゆくひとのかたわらに、ただ寄り添って、手を握りつつけることの意味を。

——言葉が多すぎます。と、いつか一九九七年、その人は去った。

お知らせコーナー

平成26年永年勤続表彰対象者

20年

錦織 和美 看護部
安達 千代美 事務部医事課

15年

金村 真佐美 看護部

10年

井上 倫実 看護部
小豆沢 正実 事務部総務課
金田 直樹 医療相談部
本庄 哲也 リハビリ科
松浦 祐治 リハビリ科
山成 大治 リハビリ科
永瀬 隆浩 リハビリ科
井原 直子 リハビリ科
小林 裕恵 医療相談部
福田 摩実 事務部医事課
佐々木 孝子 在サ部通所リハ
山根 正恵 在サ部通所リハ
金坂 晴美 看護部

5年

今田 柱子 リハビリ科
永田 舞 看護部
松本 美幸 看護部
前田 晃子 リハビリ科
森山 恵介 リハビリ科
為国 理紗子 リハビリ科
今田 直志 看護部
田食 謙二 看護部
峠田 裕子 看護部
森脇 祐子 診療部栄養課
谷本 邦枝 診療部栄養課
佐藤 あや子 看護部
濱崎 貴仁 在サ部在宅介護
林 まつ子 看護部
西田 重美 看護部
横野 香奈子 看護部
長廻 裕美 看護部
小村 和美 看護部



人事のお知らせ

- 異動 在サ部通所リハ 角崎 由広(看護部)
- 退職 福田 未来(リハビリ科)

新入職員紹介



山崎 裕子 (リハビリテーション部)

- 趣味・特技 お菓子作り。
- 好きなもの・好きな事 旅行、買い物

一言ご挨拶

12月から勤務させていただきます。分からないことがあると思うので色々教えて下さい。沢山のことを吸収し頑張っていくのでよろしくお願い致します。



矢島 翠 (診療部栄養課)

- 趣味・特技 ・パン作り、
- 好きなもの・好きな事 ・映画鑑賞

- ・スロージョギング
- ・静かなカフェで
- ・食事がからんだ
- 小説を読むこと
- ・コーヒーを飲むこと

一言ご挨拶

初めての県外への勤務で通勤でドキドキしています。課の方々にとっても優しく教えて頂き早く仕事をおぼえてお役に立てよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

この人だ〜れ? 答え



古瀬 奈保子さん



中村 みどりさん

公仁会事業報告 9・10・11月

調査年度(報告期) 強化項目
リハビリ数

鹿島病院

①外来部門

(診療日数67日)	1日平均人数
外来受診患者数 1,001人	14.9人/日

②病棟部門

(前月日数91日)	1日平均人数
延入院患者数 5,366人	59.0人/日
リハビリ実施患者数 2,444人	26.9人/日
リハビリ実施数 1,807単位	21.0単位/日

②-1 特殊疾患病棟 (2F)	延入院患者数 2,183人	24.0人/日
	脳血管疾患リハビリ 1,929単位	21.2単位/日
	運動器リハビリ 258単位	2.8単位/日
	呼吸器リハビリ 7単位	0.2単位/日

②-2 医療療養病棟 (3F)	延入院患者数 2,389人	24.3人/日
	脳血管疾患リハビリ 1,026単位	11.2単位/日
	運動器リハビリ 728単位	8.0単位/日
	呼吸器リハビリ 7単位	0.0単位/日

②-3 回復期リハビリテーション病棟 (3F)	延入院患者数 4,976人	54.7人/日
	脳血管疾患リハビリ 2,235単位	24.8単位/日
	運動器リハビリ 429単位	4.7単位/日
	呼吸器リハビリ 55単位	1.0単位/日

②-3 医療療養病棟 (4F)	延入院患者数 4,976人	54.7人/日
	脳血管疾患リハビリ 2,235単位	24.8単位/日
	運動器リハビリ 429単位	4.7単位/日
	呼吸器リハビリ 55単位	1.0単位/日

②-4 短期入居介護	ショートステイ利用者数 29人	0.3人/日
------------	-----------------	--------

在宅サービス部

①通所リハビリ "やまゆり"

(稼働日数79日)	1日平均利用者数
通所リハビリ利用者数 2,529人	32.4人/日
訪問型リハビリ実施数 90単位	1.2単位/日
訪問型リハビリ実施数 203単位	2.6単位/日
訪問リハビリ実施数 2,266単位	29.3単位/日

②鹿島病院 ティサービスセンター

(稼働日数78日)	1日平均利用者数
通所介護利用者数 1,985人	25.4人/日

③鹿島病院 看護ティサービスセンター

(稼働日数79日)	1日平均利用者数
通所介護利用者数 1,663人	20.0人/日

④訪問看護 "いつくしみ"

(稼働日数61日)	1日平均利用者数	
訪問看護利用者数(医師)	476人	7.8人/日
訪問看護利用者数(看護師)	725人	11.9人/日
訪問看護利用者数(理学療法士)	196人	3.2人/日

⑤鹿島病院 やまゆり居宅介護支援事業所

(稼働日数61日)	1日平均利用者数	
居宅ケアプラン決定数	364人	12.9人/日
居宅介護計画ケアプラン数	41人	1.4人/日

職員数

職 種	職員数(名)
医 師	5人
医 師 助 手	3人
F T	18人
O T	15人
S T	4人
看護部事務員	85人
医師事務員	2人
診療事務員	1人
社会福祉士	5人
介護士(施設)	6人
介護福祉士	45人
臨床検査士	1人
看護士	4人
その他	57人
合 計	251人

地域連携室便り 38

地域かかりつけ医の先生方との連携交流会について 小林 裕恵



医療相談部

これまで、何度もこの「地域連携室便り」で述べてきましたが、医療は現在、1つの病院だけで完結するものではなく、地域の各機関の連携の中で成り立っています。地域の急性期病院、慢性期病院、地域の開業医、種々の福祉施設、行政機関などが連携して患者をケアしていくのです。鹿島病院に地域連携室ができて10年になりますが、私たちはこの間、地域連携のさまざまな取り組みを行ってきました。それらは、①他病院や施設との交流会の開催、②圏域内の情報提供書の統一、③急性期病院と慢性期病院と在宅をつなぐシステムづくり(中間ケア)④救急搬送患者早期受け入れシステムなどです。そして、平成24年度からは、⑤地域の開業医への訪問、⑥地域の施設や住民への情報発信に取り組み始めています。

現在、取り組んでいる⑤⑥の課題に関連して、鹿島病院は、島根県の実施する「島根県在宅医療推進事業」の連携拠点病院として、平成25年度より3年間、在宅医療連携を重点的にすすめていくこととなりました。この事業は、具体的には、松江市橋北地域で、鹿島病院、急性期病院、地域の開業医、地域包括支援センター等が、地域で在宅医療連携等を推進する上での課題を把握し、関係者による対応策を検討して、よりよい地域のネットワークを作ることをめざすものです。

その第一歩として、私たちは、橋北地域の開業医の先生方を訪問するとともに、平成25年12月19日ならびに平成26年1月8日、先生方との連携交流会を行いました。



連携交流会の内容は、①鹿島病院清水院長のあいさつ、②小崎理事長の「鹿島病院の昨日、今日、明日」と題した鹿島病院の歩みと今後についての講演、③懇親会、というものです。この会では、開業医の先生方から、さまざまなご意見や感想をいただきました。

地域の医療を支えるために連携が必要だという認識は、多くの先生方が示されました。松江医療圏域の医療は崩壊の危機にあるという認識をおもちのある先生は、「開業医・施設・他の病院から救急外来へ受診するが、対象外だと言われ在宅へ備

る。その流れは誰にとっても不満となり、お互いに不幸な状態である。患者・開業医・急性期病院・鹿島病院ともに今後協力しあいたい」とおっしゃいました。

そして、こういう連携を進めるために、鹿島病院による情報発信が重要という指摘もありました。たとえば、「鹿島病院は昨年まで八東医師会所属であったが、松江と八東医師会が統合されたので、これを機に情報の発信に努めてほしい」という要望や、「地域の急性期病院の体制が変わってきており、慢性期病院の鹿島病院としてどこまで患者の対応が可能なのか、情報を発信するところから始めてほしい」というご意見です。

そして、連携の実際については、「在宅・施設など重症症例も多くなり、急性期では難しいことでも鹿島病院で対応が可能となってきた」、「医療をきちんとしている印象があり、安心して患者をお願いしている」「開院して10年たつ。当初診察していた人も年をとり、どんどん高齢化し老老介護が多くなってきた。鹿島病院で体調を整え在宅へ復帰していくケースもあり、急性期をまたがなくても良い体制が出来ている。頼りにしているので、どんどん病院のことを情報発信して欲しい」、「90歳を超す患者とどのように向き合えば良いのかと悩んでいたが、鹿島病院の話聞いて、がんばろうと思った」、などの御意見があり、在宅と開業医と鹿島病院の関係が次第に構築されつつあること、並びにその関係をより充実したものにすることへの期待が大きいことがわかりました。

今回の交流会には、これまで鹿島病院とはあまり関係の深くない先生方も参加されました。そんな先生方からは、「鹿島病院は、地域の急性期病院の後方支援病院だと思っていたが、今回認識を新たにした」「以前は鹿島病院を紹介すると、患者・家族から鹿島病院だけは嫌だとよく言われていた。しかし、今回の話を伺い、今はそういう病院ではないと明確に言えると思う」といった御意見をいただきました。正直、これはとてもうれしいお話でした。

交流会では、在宅医療を支える医院の多くの先生方から、在宅医療を支えるために鹿島病院に対する期待、希望を伺うことができました。現在病院では、これらの声にできる限りお応えしていきたいと考えております。

高齢になると慢性的の病気をもちやすく、しかも完治が難しくなります。複数の慢性疾患を抱えた高齢患者が望ましい生活を送るためには、最初に述べたように、地域全体で医療を支える「地域医療」の考え方が重要です。鹿島病院は、今後も地域の病院はじめ、開業医の先生方、福祉施設、地域包括支援センター他のみなさんと連携してこの地域医療を支えていこうと強く考えています。

ときめき広場



院内恒例のおもちつきがおこなわれました

「昔とった杵柄!!」と、リハビリ入院中の患者さまも目を輝かせて杵をふるわれました。身も心も杵も気合十分でした。(レクレーション委員会)



クリスマス献立・正月献立

診療部栄養課

農坂 由希子



今回は、「クリスマス献立」と「正月献立」について紹介したいと思います! 年末年始は行事食が続き、



クリスマス献立12月25日

華やかな献立も多く作り手にも一層力が入ります!

クリスマス献立は、定番のチキンをはじめカブのサラダ、ポ

タージュ、杏仁豆腐を提供しました。色とりどりの食材を使用し、見た目にも

楽しい料理となっています。患者様からも「豪華だねえ〜、美味しいなど」声が聞かれ大好評でした! また、1/1~1/6



正月献立1月1日

までは正月らしく、ちらしずし七福煮、ごま豆腐、刺身、鯛の煮付けなど提供しました。七福煮

の語源は「七つの具を七福神に見立てた煮物」というようで、食べて頂くことで皆さまに福が来るようにと願いが込めてあります。2014年も美味しい食事を食べて頂けるよう頑張ります☆



正月献立1月6日



編集後記

2014年がスタートしました。今年も鹿島病院広報委員会は[ときめき鹿島]の取材を積み重ねていきます。本年もよろしくお願ひします。

編集・発行・責任者：福利厚生・広報委員会委員長

医療法人財団公仁会 〒690-0803 島根県松江市鹿島町8分243-1
e-mail ksm@kashima-hosp.or.jp http://www.kashima-hosp.or.jp/

鹿島病院 TEL(0852)82-2627内 FAX(0852)82-3064

訪問看護ステーション(いつくしみ) TEL・FAX(0852)82-2640

やまゆり居宅介護支援事業所 TEL・FAX(0852)82-2645

通所リハビリテーション(やまゆり) TEL・FAX(0852)82-2637

幸町デイサービスセンター TEL(0852)28-1388 FAX(0852)28-1384

鹿島病院デイサービスセンター TEL(0852)82-2627内 FAX(0852)82-3064

印刷商元 千鳥印刷株式会社